



つくば市社協キャラクター
♥つくちゃん♥

社協通信

つくば

2024 11月号 No.121

大穂圏域版



発行 | 社会福祉法人 つくば市社会福祉協議会

〒300-3257 つくば市筑穂1丁目10番地4 TEL:029-879-5500 / FAX:029-879-5501

つくば市社協

検索

THE ORGAN OF TSUKUBA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

じぶんの町を良くするしくみ



今年も全国一斉に**赤い羽根共同募金運動**が始まりました。つくば市社会福祉協議会では、つくば市共同募金会として赤い羽根募金・歳末たすけあい募金・災害援助のための義援金活動などに協力しています。毎年、多くの皆さまによって支えられ様々な募金運動を実施しています。

街頭募金

10月5日、茗溪学園中学校高等学校の生徒会の皆さんと一緒に募金の呼びかけ運動を行いました。

つくば市内の子どもたちが抱える様々な問題を改善したい、また、その問題への関心を高めることを目指し、生徒自ら「子ども応援プロジェクト」を立ち上げました。赤い羽根共同募金を通して、できる限り貢献したいという思いから、毎年運動に参加してくれています。



▲@山新グラusstageつくば
今年も会場を提供いただきました

戸別募金

区会・自治会を通じて各ご家庭に協力いただいています。いつもありがとうございます。

カプセルトイ募金

1回100円以上の募金でガチャガチャを楽しめます。ガチャガチャは、つくば市社協の本部窓口（大穂庁舎）に設置しているほか、社協が実施するイベントにも登場します。



▲筑波技術大学の学生たちとグッズ制作講座でボランティアの皆さんが制作したグッズが登場！

11/23[±]
ボランティア
フェスタ in
つくばに
登場予定



みんなのグッズが募金につながる

今年度も筑波技術大学（産業技術学部総合デザイン学科）の学生たちに協力いただきカプセルトイグッズを制作しました。昨年度、学生たちがプロデュースしてくれ大好評だったカプセルトイグッズ！制作にあたっては、同大学の伊藤准教授を講師に「カプセルトイグッズ制作講座」として、人同士がつながり困った時に住民同士で助けあえるような地域づくりのきっかけになるようにという思いも込めて2講座開催し制作しました。

32名のボランティアが参加し、グッズ制作を通して、共同募金や地域住民同士のつながりについて考えるきっかけになったという声をいただくことができました。皆の思いが詰まったさまざまな色のつくちゃん・赤羽根家ストラップを募金を通してお楽しみください！



▲小学生から大人まで多くの方が参加してくれました



▲赤羽根家ストラップ制作中
プラ版やUVレジンを使用しました



▲色や服をアレンジ♪かわいいストラップが完成しました



社協からのお知らせ

Information

報告 善意の寄付 ありがとうございます

令和6年7月16日～令和6年10月15日 (順不同・敬称略)

八木カラオケ会	33,610円
戸崎 正明	4,000円
高野 みち子	1,000円
(有)江原石油	5,000円
脇中 起余子	100,000円
匿名 2 件	110,000円

- 社協では、年間を通じて寄付を受け付けています。個人の場合は、所得税・個人住民税控除の対象となります。

クレジットカードを利用した寄付を受け付けています!

つくば市社協では、クレジットカードを利用した寄付(オンライン決済)を随時受け付けています。

手続きはインターネット上からとなりますので、つくば市社協のホームページをご覧ください。



つくば市社協 寄付

検索

【問合せ】総務財務係 TEL 029-879-5500

報告 竹園高校JRC部から車いすが寄贈されました

この度、茨城県立竹園高等学校JRC部から車いす1台を寄贈していただきました。

竹園高校JRC部の活動の一つとして、毎日学校から大量に出る古紙などを回収し、古紙回収業者に回収してもらった売上金を元に、購入した車いすを寄贈しているとのことでした。

今年で16台目の寄贈となります。寄贈いただいた車いすは、一時的に車いすを必要とされる方に対する貸出用として活用させていただきます。竹園高等学校JRC部の皆さま、ありがとうございました!



お知らせ 令和6年度 ボランティアフェスタ in つくば

今年のテーマは

「つながる みつかる 新しい出会い」

つくば市内のボランティア団体や個人の活動紹介など、市民ボランティアの活動のきっかけづくりとなる「新たな出会いを見つける場」として開催します。フリーアナウンサー鈴木もえみ氏を総司会に迎え、活動展示やステージ発表、体験コーナー、販売など、子どもから大人まで楽しめる企画が盛りだくさん! 皆さまのご来場をお待ちしております。

【日 時】11月23日(土・祝) 10:00～14:30

【場 所】コリドイオ(吾妻1-10-1)、センター広場、ノバホール(小ホール)

【問合せ】ボランティアセンター TEL 029-879-5898

募集 つくばこどもの青い羽根学習会 学習支援員(ボランティア)

「つくばこどもの青い羽根学習会」は、学力向上だけでなく、学習習慣や生きる力を育む無料の学習会です。宿題や課題の分からないところを教え、話し相手になってもらえるボランティアを募集しています。

皆さんの時間を子どもたちの学習支援に活かしてみませんか?

【活動日時】毎週月曜日・木曜日(いずれの曜日でも可)

・月曜日 17:00～19:30

・木曜日 17:30～20:00

【内 容】4～9年生を対象とした宿題のサポートや授業の予習、復習(主に算数、数学、英語)

【費用弁償】1回あたり1,000円

【問合せ】地域福祉係 TEL 029-879-5500

募集 義援金を受付けています

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

寄せられた義援金は、茨城県共同募金会を通じて被災地それぞれの関係機関で構成される「義援金配分委員会」において決定し、被災者に配分されます。皆さまのご協力をお願いいたします。

【留意事項】

- 同行本支店の窓口からの振込手数料無料
- 義援金は特定の被災県を指定することはできません。

【受付期間】令和6年12月27日(金)まで

災害義援金	金融機関等	口座名義
令和6年能登半島地震	常陽銀行 本店 普通 3917600	社会福祉法人茨城県共同募金会 令和6年能登半島地震義援金
	筑波銀行 県庁支店 普通 1213955	
令和6年7月大雨災害義援金	常陽銀行 本店 普通 3927019	社会福祉法人茨城県共同募金会 令和6年7月大雨義援金

【受付期間】令和7年3月31日(月)まで

災害義援金	金融機関等	口座名義
令和6年能登豪雨災害義援金	常陽銀行 本店 普通 3928963	社会福祉法人茨城県共同募金会 能登豪雨義援金

◆「社協通信つくば」はホームページからご覧になれます。また、目の不自由な方のために音訳版は「つくば朗読ボランティア(けやきの会)」、点字版は「並木点訳の会」のご協力を得て作成しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

この広報紙は市民の皆様から寄せられた社協会費、共同募金の配分金により発行しています。この印刷物は再生紙を使用しています。

ささえあい・つくば



地域の皆様とともに支えあい活動や地域づくりをすすめるための情報紙「ささえあい・つくば」です。「ささえあい・つくば」では、「人と人との支えあい」の活動や生活支援コーディネーターの活動内容を皆様に紹介し、支えあいの文化を未来へ紡いでいきたいと思ひます。

Q 「協議体」(地域支えあい会議)ってなに?

A 「支えあいの地域づくり」を進めていくために、「お互いに支えあいながら、地域で楽しく暮らしていくためにはどうすればいいか?」をテーマに話し合う場が、本事業における「協議体(地域支えあい会議)」です。

いま住んでいる地域が、「どんな地域になっていったらいいだろう?」「どんな仕組みがあったらいいかな?」などについて、参加者同士での情報交換をしながら、みんなで話し合ひます。テーマや進め方、参加者は圏域によってさまざま。地域の様々な立場の方々が、顔を合わせ、話をするこゝろから「支えあいの地域づくり」は始まります!

みんなで一緒に
集まれる場所が
あるといいね。

自分たちの地域でも
何かしてみようかな?



そっちの地域の活動、
とってもイイネ!
参考にさせて!

地域の方の「得意」を
活かして、
何かできそうかも!

こんなことをしています!(例)



事例発表

地域活動を行っている団体や個人から、事例報告を聞き、ヒントやアイデアをキャッチ!



グループワーク

グループごとに分かれての情報交換。日頃の地域活動につながるようなアイデアを出し合ひます!

・・・これ以外にも内容は様々! 皆さんも参加してみませんか!?

次ページではお住いの圏域の「地域支えあい会議」の様子をご紹介します! ➡

みんなでいきいき 支えあう 輝けるまち 大穂

大穂圏域だより

地域の活動をつなげる! 広げる! 地域支えあい会議

9月26日、大穂交流センターにて令和6年度第1回目となる「地域支えあい会議」を開催しました。前回実施したアンケートで「他の地域の活動について話を聞きたい」との意見が多かったことから、「花畑FF会（フラワーフィールドーズ）」「上内地区（後述にて紹介）」「大砂さくら会（ふれあいサロン）」の3団体に活動発表していただきました。発表からそれぞれの地域の状況や取り組みを知ることができました。その後、地区ごとに分かれ「自分の地域にある活動を『つなげる・広げる』ためにできることは何か?」をテーマにグループワークを行いました。「伝統行事など地域に残っている活動を途切れさせないことで、人同士のつながりも継続していく」などの意見があげられました。会議終了後、地域での取り組みに向けた話し合いの場を設ける地区もありました。



今後も地域活動がつながり、広がるよう地域住民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

▲参加者からの質問も多く、活発な会議になりました

ふれあいの場「上内夏祭り」

地域で行われた活動について紹介します

前野地区では、毎年7月第3日曜日に5つの常会が3つ（①山木地・大鹿常会 ②北坪・東坪常会 ③上内常会）に分かれ子ども神輿を執り行います。子ども神輿は、子どもたちが神輿を担ぎ町内の家を一軒一軒まわり無病息災を願う行事です。

上内常会では、子どもの減少により神輿を担いで回ることができず、子ども神輿を通した交流の機会がなくなっていました。その他にも年々子どもを含めた幅広い世代同士の交流がなくなっている現状があり、令和5年から“夏祭り”を“多世代交流（ふれあいの場）”とする取り組みを始めました。

子どもたちと一緒に楽しめるよう、流しソーメン・かき氷・スイカ割りなどを企画し、夏祭りを開催しました。開催当初は、シルバークラブが中心となり、企画・準備を行い参加者は20名ほどでしたが、今年は常会中心に取り組んだことで協力者も増え、参加者も40名にまで増えました。



夏祭りを企画した上内常会の方は、「夏祭りを通して、子ども・子育て世代・高齢者の多世代交流ができ、常会やシルバークラブを中心に地区内の協力しあえる関係づくりにつながった。そして何よりも、子どもたちにとっていい思い出になった。今後も夏祭りを継続していきたい。」と話していました。

今回、生活支援コーディネーターとして夏祭りの話を伺い、地域行事を通した「ふれあいの場」から多くのことを学ぶことができました。

▲子どもからお年寄りまで! 全員で流しソーメンを楽しみました♪

コーディネーターのつぶやき

涼しい季節になってきたので、先日動物園に行ってきました! 久しぶりの動物園でしたが、たくさんのかわいい動物たちが日々の疲れを癒してくれました。皆さんも、癒しを求めて動物園に行ってみるのはいかがでしょうか。



<3・4ページ担当者>

大穂圏域担当
生活支援コーディネーター 大塚

〒300-3257 つくば市筑穂1丁目10番地4
TEL:029-879-5500 / FAX:029-879-5501
Mail:tiki@tsukuba-swc.or.jp